

「年収300万円未満」で始める投資

「投資家への壁」を探る1万人アンケートより

- 本レポートは『資産形成白書2026』の補足・深掘り・アップデートを主な目的としています。
- 本レポート単独でもご利用できますが、『[資産形成白書2026](#)』も合わせてご覧いただくと幸いです。

2026年5月12日

『投資初心者』と『投資に関心のある未投資者』の年収分布

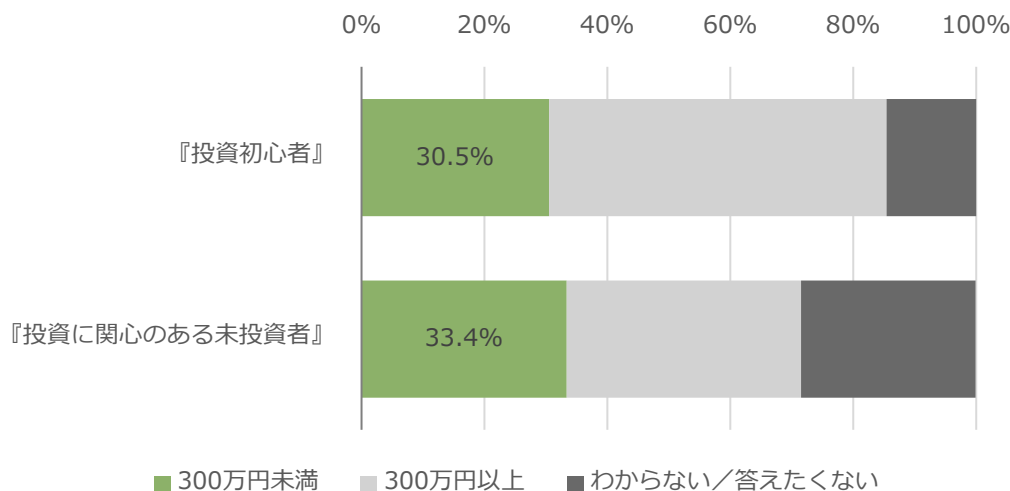
- 大和アセットマネジメント資産運用普及センターが実施したアンケート（2025年9月実施）*1の『投資初心者』*2と『投資に関心のある未投資者』*3の年収分布をみると、個人年収「300万円未満」の割合に大きな差はみられません。投資を始める際の障壁として、「投資資金を確保できていないこと」を理由に挙げる人が少なくありませんが、「年収300万円未満」であっても投資に取り組んでいる人が一定数存在することがわかります。つまり「年収300万円未満」でも投資はできるということです。

*1: [「投資家への壁」を探る1万人アンケート](#)

*2: 従業員持株会以外で2020年以降に投資を開始した人

*3: 投資に対する関心度（7段階）で上位3つに該当する人

「年収300万円未満」の割合



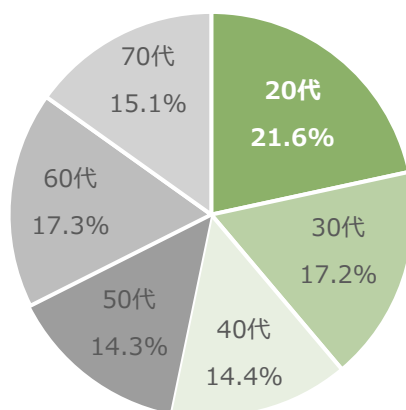
※ 『投資初心者』全体：n=3,894、『投資に関心のある未投資者』全体：n=7,054

（出所）大和アセットマネジメント「『投資家への壁』を探る1万人アンケート」

年代別にみる年収と金融資産額

- 『投資初心者』に限定して「年収300万円未満」の年代別割合をみると、20代が最も多くなっています。

年代別にみる「年収300万円未満」

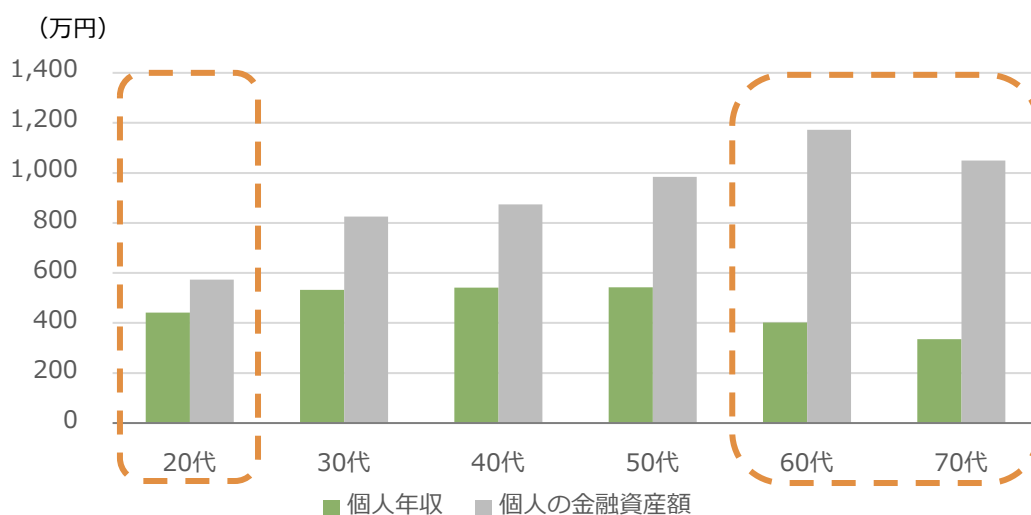


※ 『投資初心者』 & 「年収300万円未満」：n=1,188

(出所) 大和アセットマネジメント「『投資家への壁』を探る1万人アンケート」

- 同じく『投資初心者』に限定して、個人年収と金融資産額の年代別傾向をみると、20代は年収も金融資産額も他の世代に比べ相対的に少なくなっている一方、60代・70代も年収こそ少ないですが金融資産額は多くなっています。

『投資初心者』の個人年収・個人の金融資産額の平均値



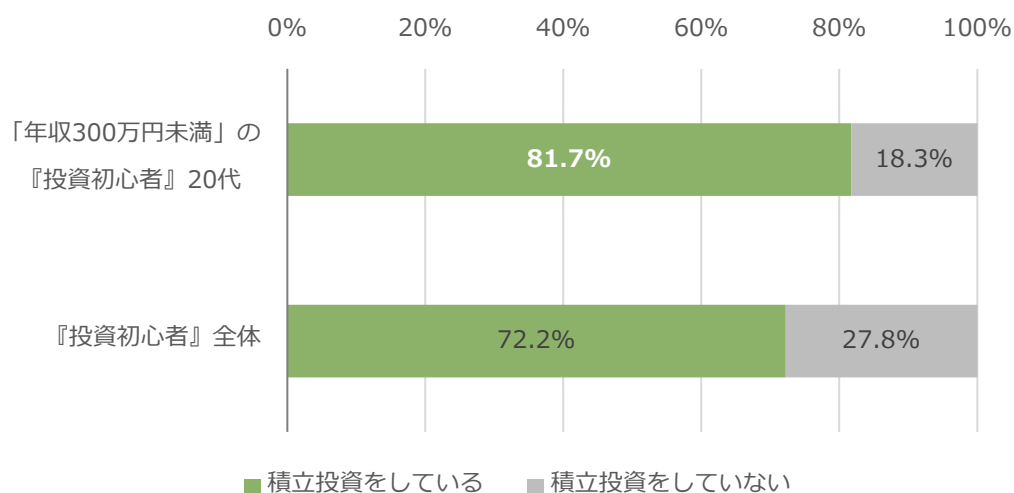
※ 『投資初心者』全体：n=3,894

(出所) 大和アセットマネジメント「『投資家への壁』を探る1万人アンケート」

「年収300万円未満」の投資金額と投資資金の確保方法

- 年収も金融資産額も相対的に少ない20代の『投資初心者』のうち、「年収300万円未満」に限ると、約8割が積立投資を利用しています。そして、積立投資をしている人の毎月の積立投資金額は「1万円以下/月」が約4割と最も多くなっています。

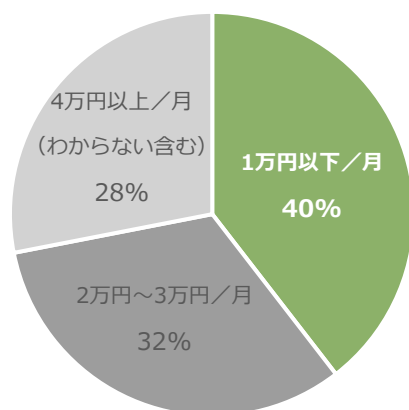
積立投資の利用割合



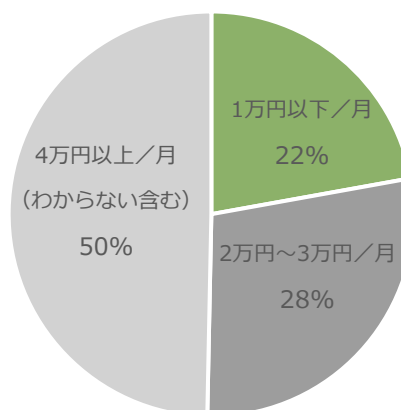
※ 「年収300万円未満」の『投資初心者』20代：n=257、『投資初心者』全体：n=3,894
 (出所) 大和アセットマネジメント「『投資家への壁』を探る1万人アンケート」

積立投資している人の毎月の積立投資金額

「年収300万円未満」の『投資初心者』20代



『投資初心者』全体

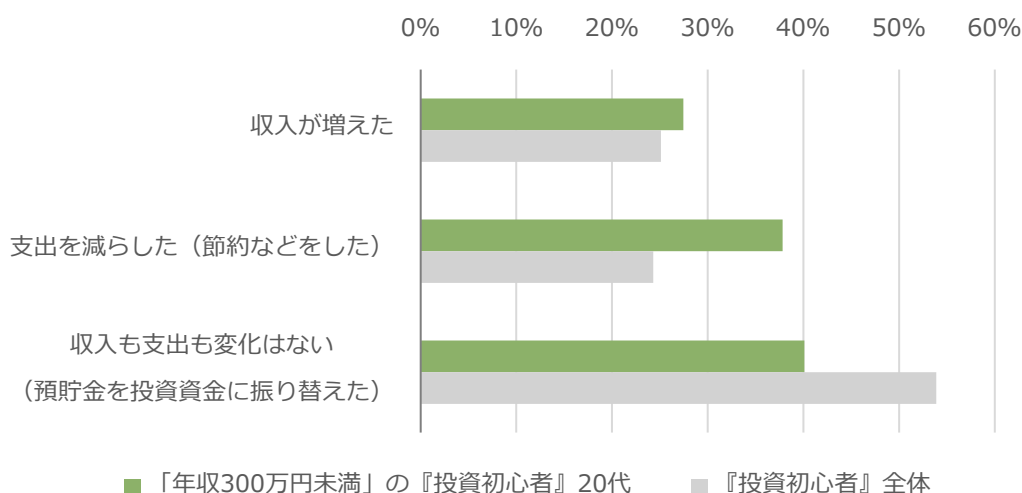


※ 「年収300万円未満」の『投資初心者』20代：n=210、『投資初心者』全体：n=2,813
 ※ 「わからない」の比率は僅少

(出所) 大和アセットマネジメント「『投資家への壁』を探る1万人アンケート」

- 次に、投資資金の確保方法をみると「年収300万円未満」の20代『投資初心者』は『投資初心者』全体よりも、節約によって投資資金を確保している傾向がみられます。

投資資金を確保するための収入・支出の変化



※ 複数回答可

※ 「年収300万円未満」の『投資初心者』20代：n=257、『投資初心者』全体：n=3,894

（出所）大和アセットマネジメント「『投資家への壁』を探る1万人アンケート」

投資金額が少ないなら、長期投資で利益を大きくする

- 「年収300万円未満」の20代『投資初心者』で、かつ月1万円以下で積立投資している人は、アンケートでの「投資による利益を大きくするために重視していること」の問いに対し、「投資対象の収益性」や「投資金額」よりも「投資期間」を重視していると回答しています。投資できる金額は少ないけれども、投資期間を長くすることで利益を大きくしたいと考えていることが窺えます。

投資による利益を大きくするために重視していること

	最も重視すること	2番目に重視すること	3番目に重視すること	回答割合
1位	投資期間	投資対象の収益性	投資金額	21.2%

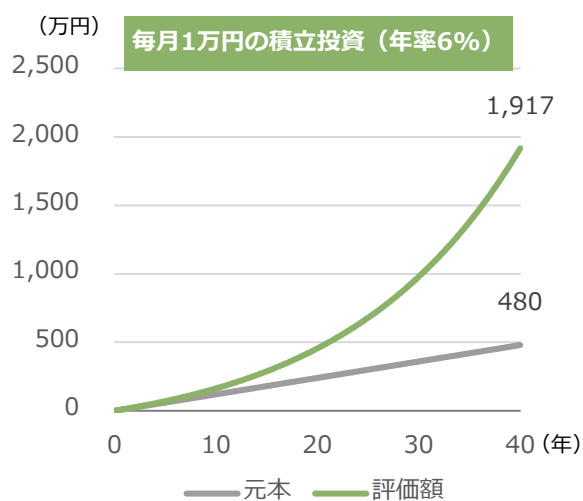
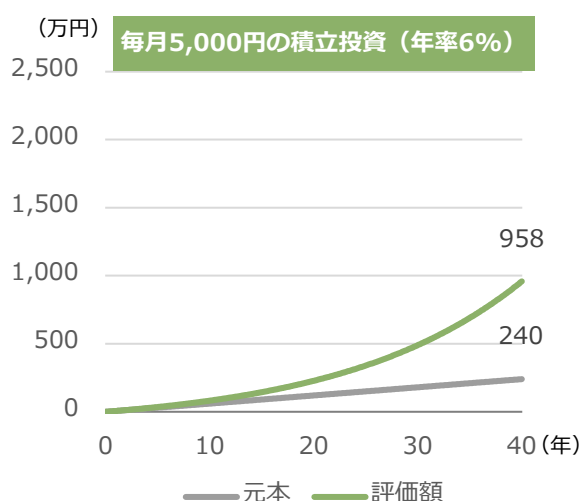
※ 「年収300万円未満」の『投資初心者』20代で「1万円以下/月」：n=83

（出所）大和アセットマネジメント「『投資家への壁』を探る1万人アンケート」

- 例えば毎月5,000円の積立投資を株式（年率6%*4）で25歳から64歳までの40年間継続した場合、元本240万円に対し評価額は958万円となり、元本の約4倍になると試算されます。毎月1万円だと、元本480万円に対し評価額は1,917万円で、同じく元本の約4倍になると試算されます。

*4：GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）は2つの中庸な経済シナリオにおいて、国内株式の期待収益率を4.8%と7.0%、外国株式のそれを5.4%と7.6%と推計している

積立投資シミュレーション



※月次の複利計算をしています。税金・手数料等は考慮していません。

（出所）大和アセットマネジメント

- 毎月1万円以下でも、積立投資を長期で継続すれば、複利効果によって投資収益が大きくなることを期待できます。－長期的な視点を持って“今ここ”にあるお金を育てていく－そうした投資が「年収300万円未満」の20代の間で実践されている点は注目されます。こうした投資家の存在は、年収や金融資産額の多寡にかかわらず、投資が可能であることを示しているといえそうです。

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。